

石徹白（いとしろ）の 歴史的建造物、まちなみ調査結果

市では、平成17年度に、石徹白地区に残る「白山文化遺産」の調査を実施しました。「白山文化遺産」とは、白山信仰の影響を受けて生まれ形成された文化遺産のこと。生活文化、民俗行事、文化的景観などがあります。今回は、「白山文化遺産」のうち、これまで調査があまりなされてこなかった、歴史的建造物と文化的景観を調査の中心としました。

1. 石徹白の歴史的建造物

(1) 歴史的建造物の分布と概要

石徹白地区は、上在所、西在所、中在所、下在所の4つの在所からなっているが、この4つの在所すべてに歴史的建造物は存在している。調査地域における、主屋（おもや）の棟数は154棟。その内、目視調査で石徹白の伝統的な形式で建てられていて、おおよそ50年以上経っていると思われる建造物は、136棟を数えた。

これらの建造物の中で、今回、実測調査及び聞き取り調査の対象とした建造物は、

- 2階が低く、屋根勾配が緩やかであること。
- 白山中居神社や大師堂といった地区内の社寺の役についていること。（宗教家の家柄であること。）
- 集落の景観上の要所にあること。また、集落内の宗教施設であること。

などの基準で選定した。しかし、重要な建造物であっても一部調査できなかったものもある。

また、石徹白地区の建造物と比較するため、長滝地区の若宮邸、宿坊も調査を実施した。

(2) 歴史的建造物の特徴と価値

1. 屋敷構えと平面形式

石徹白地区の屋敷構えは、緩い傾斜地に敷地があるため、周りに石垣を積んでいるところが多い。門扉や生垣を構えないことが特徴である。これは、多雪地域であるためであると思われる。また、敷地内に消雪池ないしは水路を配しているところが多い。

平面形式は、6つ間取りが基本となっている。一般的な農家の平面形式は、4つ間取りが基本だが、石徹白地区の場合、信仰の場所があるため「イドノデイ」「オクノデイ」の座敷2間分多い。

部屋の意匠については、上手側の座敷2間のみに、長押（なげし）が付いている場合が多い。上在所には「ゴシンゼンノマ」など神を祀る部屋が設けられており、その他の在所では、仏間が設けられている。今回調査した中で例外は上村嘉則邸のみであり、仏間と「ハクサンノマ」の両方がある。つまり、仏と神を両方祀っている珍しい例であった。また、石徹白清住邸の2階北側の床が突出している点も珍しい例であった。

2. 構造形式

石徹白地区の民家の屋根は、ほとんどが切妻（きりづま）屋根で、もともとは「樽（くれ）板」で葺かれた上に石が置かれた「クレ板石置き屋根」や板葺きの屋根であったが、現在ではトタン葺きになっている。

屋根勾配は3～4寸勾配で、緩やかな勾配である。

また、建物正面に小庇を付けているものがあるが、切妻で「つし2階建て」のものに見られる。

外壁については、落とし板の工法で作られた板壁となっているものが多い。

小屋組は東立てのものと登梁（のぼりばり）のものがある。差鴨居（さしがもい）は居間部分の「ウチカタ」周りど、部屋と縁の境についている場合が多い。比較的平面規模が大きい民家では、「ウチカタ」や土間境の部分に大きな梁を見せているところもある。



白山中居神社 白山中居神社の創建は、景行天皇12年(82)とも雄略天皇22年(478)いわれる。その後、養老元年(717)に、白山を開びゃくした越の国(現在の福井県)の僧・秦澄大師が、荒廃した社殿を修復し、社域を拡張したと伝えられる。白山中居神社本殿の彫刻が県重要文化財に指定されているほか、社叢や浄安杉が県の天然記念物に指定されている。

NO.	建物名	所在地	主屋規模(間)		階数	小屋組	垂木材寸	屋根勾配
			桁行×梁間					
1	石徹白清住邸	上在所	8×4		2階	登梁	87×80	4.2/10
2	石徹白伊織邸	上在所	8.5×5		平屋	東立て	110×110	3.8/10
3	上村佳孝邸	上在所	8×4		平屋	東立て	110×110	3.4/10
4	鷺谷勝彦邸	中在所	9.5×5.5		つし2階	登梁	105×100	3.7/10
5	上村修一邸	中在所	10.5×5.5		2階	登梁	80×80	3.6/10
6	上村市左衛門邸	中在所	10×6		2階	飛梁	70×60	4.8/10
7	上村嘉則邸	西在所	9.5×5		つし2階	東立て	105×55	3.1/10
8	加藤仁太郎邸	西在所	7×5		つし2階	東立て	60×65	3.9/10
9	上村和彦邸	下在所	7.5×5		つし2階	東立て	80×70	3/10
10	上村重政邸	下在所	12×5		2階	登梁	100×80	3.8/10
11	上村乙行邸	下在所	9×4		つし2階	東立て	57×66	3.3/10
12	久保田新太郎邸	下在所	6.5×4		つし2階	東立て	95×90	3/10

【石徹白地区の民家の構造】